



教員が研究の楽しさを語る

第171回(10/24)鈴木 雅之先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

事例で読む現代集合住宅のデザイン

著者：日本建築学会住宅小委員会編

出版：彰国社, 2004.9

コメント：環境共生、街とのかかわり、既存ストックの再生、多様な居住者への対応といった9つのテーマを軸に、これからの集合住宅のつくり方と使い方を、集合住宅の研究者の研究成果を利用して浮き彫りにした。



Book2

現代集合住宅のリ・デザイン：事例で読む「ひと・時間・空間」の計画

著者：日本建築学会編

出版：彰国社, 2010.9

コメント：既存の集合住宅を活かす、資産を継承する建替えなど、さまざまな生活者に合致した場をつくるための約50の事例を集め、それぞれに、豊富な図版と写真掲載し、住まい方調査もとづく詳細な解説を加えている。



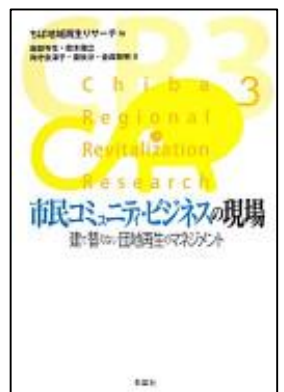
Book3

市民コミュニティ・ビジネスの現場：建て替えない団地再生のマネジメント

著者：ちば地域再生リサーチ編；服部岑生 [ほか] 著

出版：彰国社, 2012.10

コメント：衰退する郊外ニュータウンの住宅地の更新を行い、コミュニティの寿命を延ばす日本で最初の組織「ちば地域再生リサーチ」の10年間の取組みと、その活動の多様な広がり方、根底にある考え方、ノウハウなどの解説。





Book4

**建築のサプリメント: とらえる・かんがえる・つくる
ためのツール**

著者: 小野田泰明 [ほか] 編著

出版: 彰国社, 2014.5

コメント: 行為と空間と操作の組合せにより抽出した「個の変容」「生活のかたち」「動き」「コミュニティ」「マネジメント」など、建築を計画・設計する際の新しい発想のツールやヒントを調査研究から解説している。



Book5

**人口減少時代の住宅政策: 戦後70年の論点から
展望する**

著者: 山口幹幸, 川崎直宏編

出版: 鹿島出版会, 2015.11

コメント: 人口減少、少子高齢化、環境問題、災害対策など、未曾有の課題に直面する日本社会における住宅政策を、研究者、コンサルが戦後70年の軌跡から読み解き、成熟社会に向けた展望を描いている。



Book6

**未来につなげる地方創生: 23の小さな自治体の
戦略づくりから学ぶ**

著者: 内閣府地方創生人材支援制度派遣者編集チーム
編

出版: 日経BP社, 日経BPマーケティング (発売),
2016.10

コメント: 中央省庁、民間企業、大学から、多様な能力と個性を持つ日本版シティマネージャーが地方で見たこと、感じたこと、取り組んだことを克明に記したもので、地方創生のリアルな現場を描いている。

